

地域

杉谷氏は、現在、集団移転地のある筑紫郡那珂川町に居住され、五ヶ山ダムの佐賀県側の地権者で構成される水没対策協議会の会長としてご活躍されています。

五ヶ山ダムは福岡県と佐賀県にまたがって建設する予定のダムで、本体は福岡県の筑紫郡那珂川町に予定されています。那珂川町は、福岡県内の西部にあつて福岡市と隣接し、市の都心部からおおよそ13キロメートルのところに位置しています。那珂川町の西部には脊振山地が拡がり、慢性的な水不足に悩む福岡県にとって貴重な水源となっています。那珂川町の中央を南北に貫流する那珂川は、北方の福岡市方面に流れ博多湾に注いでおり、脊振山地の南に位置する佐賀県側では、田手川が筑後川と合流し有明海に注いでいます。

略歴

平成11年 4月～ 五ヶ山ダム水没対策協議会 会長

平成14年 2月～ 五ヶ山ダム補償交渉委員会 副会長

功績内容

- ・昭和53年の福岡大渇水を契機とした五ヶ山ダム建設に対して、平成11年より佐賀県側の地権者で構成される五ヶ山ダム水没対策協議会の会長に就任され、長きにわたつて関係住民への説明や調整にご尽力されました。
- ・ダム建設予定地が福岡県と佐賀県の2つの県にわたつていることで生じる諸問題の解決のために、両県内の地元団体で構成された「補償交渉員会」の副会長として、関係者の意思統一にご尽力いただいた結果、平成14年12月に福岡県と地元地権者との間で補償基準を妥結するに至りました。
- ・水源地域整備計画の策定や集団移転等の問題に対して、地域内での調整や関係者の意見集約にご尽力されました。



五ヶ山ダム損失補償基準調印式
(右から二人目がご本人)



五ヶ山ダム完成イメージ



昭和53年渇水時の給水状況



那珂川町役場付近の溢水状況